

JAHl は鳥取県江府町とプラネタリーヘルス推進協定を締結します

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

1. PHIの社会実装の第一弾として、JAHl は鳥取県江府町とパートナーシップ協定を締結します

(1) プラネタリーヘルスとは：

人と地球の全てのシステムは相互に依存し合い密接に繋がっているという考え方を前提に、ヒトを含む地球の全体最適化を目指す最も統合的なヘルスケア概念。2030年で終了するSDGsの後も引き続き注目される最も重要なテーマであり、東京大学はJR東日本との連携で来年3月に開業予定の高輪ゲートウェイに設ける新キャンパスにその研究拠点を設けると伝えられています。

(2) プラネタリーヘルス・イニシアティブ（PHI）とは：

JAHl では、昨年3月開催の第4回年次大会・基調講演（桐村里紗医師）を契機に、欧米の学界・産業界に比較して著しく立ち遅れているわが国のPH普及を急速に推進するための組織PHIを、昨年7月協会内に立ち上げました。

(3) 江府町とは：

桐村医師は、自然環境の再生と地域社会の再構築の実践を目指して、東京・青山から、人口最小県・鳥取の人口最小自治体（人口・約2500人）である江府町に住民票を移され、日本のローカルから地球課題を解決していくことを目指して活動中です。

(4) 江府町が進める「出かける役場」構想：

その江府町では、本年4月「出かける役場推進室」を設置し、高齢社会で日常の移動手段を持たない高齢者を支援するために、職員が高齢者宅に向いて行政手続きの補助や日用品の買い物代行を行う画期的なサービスを始めます。さらに、JAHl が昨年11月の記者会見で紹介した「移動診療車」を活用して、医師同乗による「生活総合診療」の実施を目指しています。

(5) 鳥取江府モデルの共創：

PHIは、今後、地域の医療介護福祉施設や教育機関、様々な企業や団体、あるいは江府町を中心とした住民との連携を図り、同時にPHの推進に関わる最先端の研究や技術、そして志のある内外の経済界・学界関係者を巻き込んで、「鳥取江府モデル」というPHのローカルモデルを共創していこうと考えています。

(6) プラネタリーヘルス推進協定の締結：

このように、PHの推進に際しては志を一にする鳥取県江府町と弊協会は、連携協力関係を構築し、各々の資源やノウハウを共に活用してPHを推進していくことを目的として、これに必要な基本的事項を約定するため、この度パートナーシップ協定の締結に至りました。

2. PHI設立を記念し、シンポジウムを開催します

JAHl では、3月3日（日）午後、日比谷図書館地下大ホールにおいて、PHI設立記念シンポジウムを開催します。当日は人間の健康と食との関係に関心を持たれ始めた多くのドクターの方々が参加しやすいよう日曜日の午後の開催といたしました。第1部ではPHIの桐村代表の他、農地の生物的豊かさを音で表現する研究の第一人者・横山和成講師、第2部では医療と食事療法を実践し、腸内細菌にも深い知見を持たれる田中善医師等が加わり、地球環境と人の営みに関する碩学・佐藤洋一郎先生をファシリテーターにディスカッションを展開します。第3部では会場を移して交流会が予定されています。江府町・白石祐治町長も上京・会場参加され、JAHl 今西会長と握手・記念撮影の予定です。弊協会ホームページから奮ってご参加ください。